

# パーキンソン外来 開診！

## パーキンソン病は 高齢者に多い病気

### Q パーキンソン病はどんな病気？

**A** 体の動きに障害があらわれる病気です。

パーキンソン病は、脳の異常のために、体の動きに障害があらわれる病気です。現在、日本には約20万人の患者さんがいるといわれています。高齢者に多くみられる病気ですが、若い人でも発症することがあります。

#### パーキンソン病の代表的な症状

動作が遅い・少ない・小さい



歩く速度が遅くなり、歩幅も狭くなります。腕の振りも小さくなります。

手足が震える(振戦)  
しんせん



安静にしている時に、手や足に細かな震えが生じます。

筋固縮  
さんこしゆく



患者さんの腕や足を動かそうとすると、関節がカクカクするような抵抗が感じられます。

バランスがとれない  
(姿勢反射障害)



重心がぐらついたときに、姿勢を立て直すことができず、そのまま倒れてしまいます。主に進行期に出現。

### どんな病気？

病気です。

ゆっくりと進行するのが特徴です。

パーキンソン病は、何年もかけてゆっくりと進行する病気です。以前は、「パーキンソン病を発症すると、10年後には寝たきりになる」といわれていました。しかし、現在は効果的な治療薬もあるため、発症から長い年数にわたり、よい状態を保つことができます。それだけに、**早い段階からきちんと治療を始めることが大切です。**

#### パーキンソン病の進行の度合い(ヤール重症度分類)

- 軽度 1度** ▶ 症状は片側の手足のみ。日常生活への影響はごく軽度です。
- 2度** ▶ 症状が両側の手足に。多少の不便はあっても、従来どおりの日常生活を送ることができます。
- 3度** ▶ 歩行障害や姿勢反射障害があらわれます。活動がやや制限されますが、日常生活は自立しています。
- 4度** ▶ 両側の手足に強い症状があり、自力での生活は困難。介助が必要となることが多くなります。
- 重度 5度** ▶ 一人で立つことができなくなり、車椅子での生活や寝たきりになります。全面的介助が必要。

早く治療を始めれば、良好な状態が保たれ、大きな支障なく生活することができます。

**STOP!**





# パーキンソン病 チェックシート

- 手足のふるえ
- ちょこちょこ歩き
- 足がすくむ
- 加速歩行して止まらない
- 転倒を繰り返す
- 動きがにぶく時間がかかる
- 筋肉が固くなって動かしにくい
- 食べ物や水分が飲みにくい
- 字を書くと小さくなる
- 幻視（見えない虫がみえる）
- 頑固な便秘が続く



発症初期には症状の一部しかみられず、気づきにくいこともあります。

**上記の症状が1つでも該当する方は  
早期に受診しましょう！！**



お気軽に  
受診して下  
さい！

**難病医療の申請  
や  
介護保険の申請**  
などの社会的支援のご相談にも乗っています！



**脳神経内科の外来にてパーキンソン病外来を実施しています**

担当医師	診療日
<b>岡田 直</b> (おかだ ただし)	毎週 水 曜日
<b>佐藤 啓</b> (さとう けい)	毎週 木 曜日

受付時間 8:00~11:30 診察時間 9:00~



社会福祉法人  
あじろぎ会

**宇治病院**

お問い合わせ

0774-32-6000 (代表)

※平日13:00~16:00 (土曜・日曜・祝祭日は除く)